

# 北蝦夷圖說

南方初島部  
ヲロツコ夷部

三

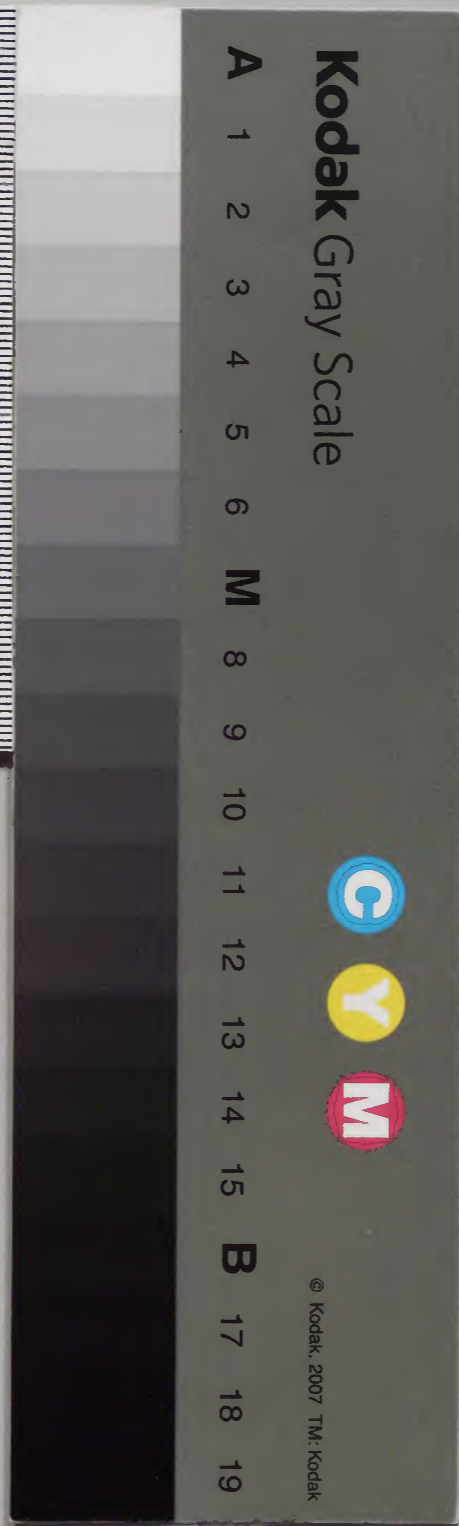
農務省  
圖書  
第 六 號  
共 冊

大政官文庫  
和書門  
二二二二  
三三三三  
四四四四  
五五五五  
六六六六  
七七八九  
八八九〇  
九九〇一  
一〇一〇

內閣文庫  
和書類  
二二二二  
三三三三  
四四四四  
五五五五  
六六六六  
七七八九  
八八九〇  
九九〇一  
一〇一〇

風

內閣文庫	
番號	和 11328
冊數	4 ( 3 )
函號	178 296





北蝦夷圖説卷之三

産業部中

常陸 間宮倫宗口述  
備中 秦貞廉編

一 島夷の業とてはるるるる海漁ハ蝦夷島は異なるところく鮭鱒サケマス鮒フナ其他雜魚と漁ハ此島鮭殊小多く春ら必羣集しるあり數  
 度あり其時ハ海面一色小白くたるあり米泔コメカの如夷等其  
 趣と見得是と漁らるる纒網カサネと以て其得るあり其多  
 又夜中火を點して海岸に漁らるるあり其狀圖の如  
 此ハ漁蝦夷島の夷専ら行せむるところなり

明治九年購求

北蝦夷圖説 卷之三



一山獵り又異なるものありと云くども獸皮と以て山且夷或は  
滿州小交易ひるものと此島夷の専務と異なるものありと云く  
男夷専ら是と勤し其状蝦夷島小異なるもの下小圖説ひ

一ホイヌと獵るものあり圖のどくく溪間野中の小流小木と渡  
きて猿と設け獸来て此木と渡る時く猿發きて獸の身體と  
得し水中小投せしむ跋躍きて適心と云くの間浮沈して  
水とくくひ終小死ひ此猿 本邦のものなる小異なるものあり  
一日本の横面小設け獸と得る時く水と投せしむるものを  
わしひと云く

一リキンカモイと獵る事ハ猿と設けく是と獲る獸常は

岩山小居るものありと云く岩く聳らきて其間獸路ある所ハ  
悉く是と設るものあり圖のどく

一トナカイと獵る事ハ熊獵の如くろ鎗と以てくものと云

一狐と獵るもの術圖のどくく枝木と建て其上魚と掛る時ハ  
狐魚と羨て木と攀ぢ上下する時足此枝間小をくまいて終  
不得るもの云此他狐と得るの術種くありと云くども林蔵其  
詳なるものを見せしむ圖説と出さるべ

一獺と獲るもの術のどくく自發弩と製し河邊に置獸来て垂  
糸の魚とくく時ハ弩のつらき發して獸と得るものあり

一グーアマと称する獵器あり是亦自發弩なり山野獸路に設



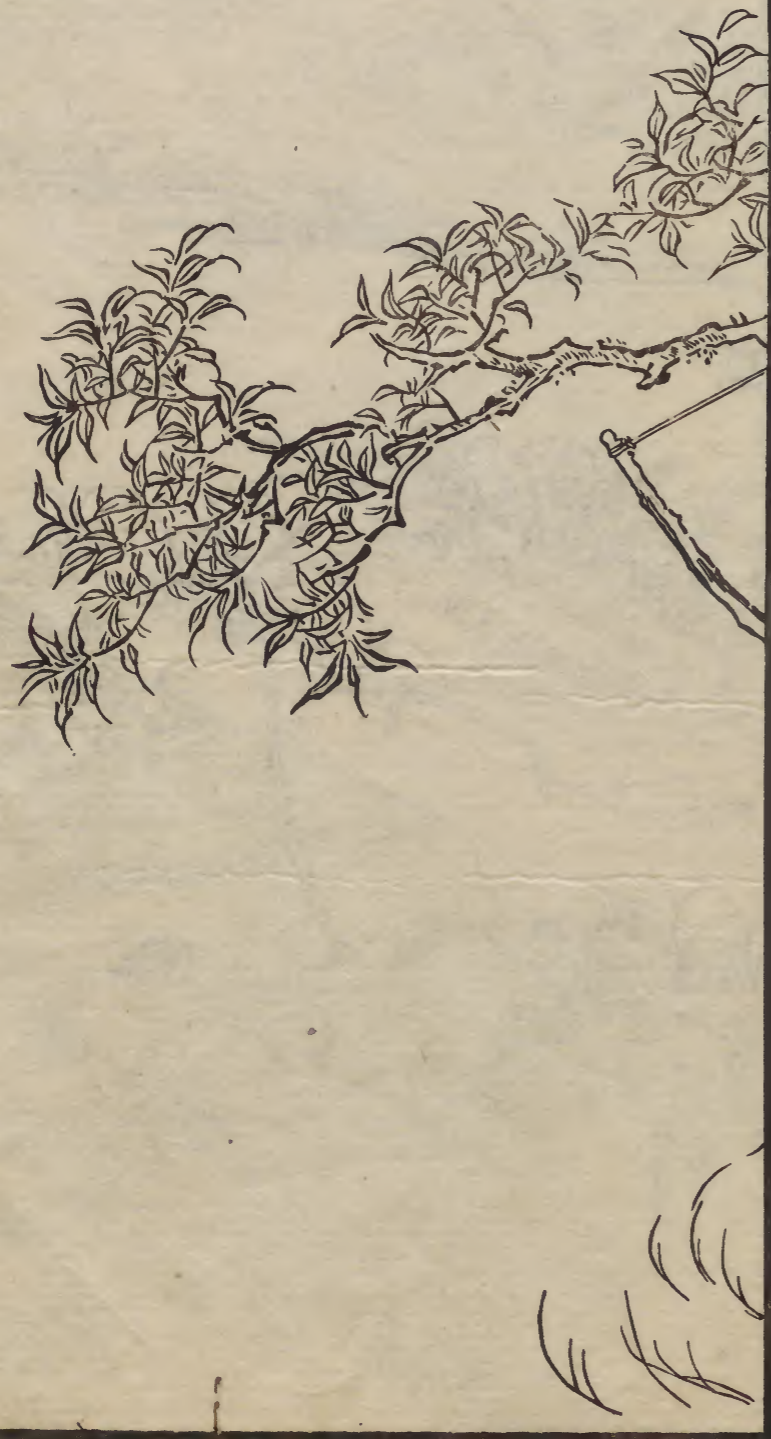
獵狐圖



北嶺夷圖記 卷之三 二



獲瀬圖 其一



北蝦夷圖說

卷之三



北  
野  
圖  
說

卷  
之  
三

五



其二



北  
野  
圖  
說

卷  
之  
三

五



北  
坡  
夷  
圖  
說



衝  
海  
獸  
圖



北  
坡  
夷  
圖  
說

卷  
之  
三

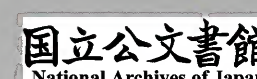


置て熊狐の類と獲る蝦夷島よりつるところの物なりと図と  
出さる

一熊と獲る事ハ蝦夷島と同く毒箭と用るも其毒蝦  
夷島の如く其効と奏せし故ハ矢と放つて是ハ中るもど  
も獸忽ち斃せざる時ハ何地追も是と追ひ數矢と放て是と  
獲る若矢種つきて獸猶斃せざる時ハ鎗と以て是と追ひ  
幸ありて是ハ及ぶ時ハ突衝して是と獲るたれ其衝痕所と  
得ざる時ハ獸怒て夷と攫せしむる所と相戦て是と得ると  
云故ハ山獵必る鎗の両器と携ふ其剛毅たることとて  
一海獸トハ水豹の類と獵ハ初夏より末秋に至るの間ハ後

の如く木と連編て海上に浮め置水豹来て此上に乗ると窺  
ひ島夷船と出さる蝦夷島隘胸獸と獲るおのく稔と擲て是  
と得又ハ長稔と以て衝獲るものとて冬月の頃水豹海岸  
洋中の氷上ハ出遊ひるを見る時ハ長稔と以て衝得るもの  
圖の如く

一山獵ハ行時ハ三四つ山中ハ滞留き獵とたれども其  
持行とらるの糧と乾魚の肉など僅三日の貯とらるものと  
て得るとらん肉と糧と以て若糧つき獲るやとらるかと  
いども獸の所在を訊得る時ハ四日食せしめて是と追ひ  
終ふ其獸と得て歸る来ることといふと云其強忍たること知





交易

一此島の夷ハ我シラヌシ小来て諸物ヲ交易シ又山丹夷ヲ口  
 ツコ。スメレンクルの夷と交易シテ其生産ヤカハクハ  
 礼ヒ是島夷の専務トモハクハ凡シラヌシ小来る者  
 東はフヌツプ地名里西は十ヨロ地名シラヌシの邊を以  
 限マシトシテ是終歲中往來シテ漁獵の業トシテ又交易を  
 ナル者ナリ是ハ奥地の夷も只交易の事トシテ一年  
 の中一兩度往來シ其交易ハシテ是物我渡ハシテ是の  
 物ハ獸皮米酒木綿相草芥針鍋の類ト以テ是れ島夷ハ山  
 丹トシテ來ルヤシラヌシ錦玉相管其他鷲羽トナリ獸皮を以て  
製し繩より

一用の類と持來り交易ハ又府小来て備他ノ業トカハシもの  
 あり

一此島の夷山丹夷と交易スルハ終歲ちハシテ是物我渡ハシテ是の  
 島夷山丹夷ハ小アハク山且夷來テ交易スルナリ島夷  
 のツコハシテ是物我シラヌシトシテ易歸マシテ又ハシテ  
 是物我得タル獸皮或ハ芥小刀の類ト以テ山且夷齋サカ來  
 ルところの本綿錦玉相管烟草針の類ハ交易ハ  
 一山且夷來ル時ハ先海濱小假屋ト造リ居トナリ山獵トシテ  
 ガハシテ交易トシテ島夷大抵其假屋ト來リテ交易ト  
 ナリ山丹夷ハ家小シテ交易ハシテ是物我ハ路傍街ナリ



て交易はることありて一定のこたなりと云

一 山且夷来る時、島夷日、其假屋よまて相親くて交易はる  
 ちや、甚一是山且夷諸物と交易はるものよありび又其物と  
 貸はるあれなる夷等の事なれ、後日其價と責らる  
 ちや、も慮らん、安よ諸物と借小来、終よ其債をつくのよ大  
 とあり、び山且夷歸去の時、當りて其責らる、小苦、適  
 逃して山不入る者、然る時、明年山且夷又来りて其債  
 を贖め、其贖とありとあり、びる者、其子其兄弟と卒  
 お歸りて質とかりと云

一 借貸の事、素よ筆記の事、なかく其贖と責るの時、不當りて

て山丹夷より、安語と以く夷等と強る、ち多し、故よ相共り  
 其更と論ぎ、相撲撃とる、ち多し、ち少なり、び然れども  
 又、ソ、ちち、相和りて、又、舊の如く物と貸りて歸りて去ると  
 い、奥地ヲロツコロスメレンクルの類、来て交易はる、ち、又  
 大抵如此

一 此島の夷人と以く山丹夷よありたりとあり、男女よ限  
 らび、其部落より、鰥寡孤獨の親類、縁者、なく、貧困、幼弱、な  
 る者、往て誘引りて、山丹夷、小交易、以、一夷の價、錦、二、四、卷、よ、あ  
 其人の強弱、よ、ウ、乃、五、六、七、卷、と、以、り、若、其人、殊、よ、幼、弱、な  
 ぬ、又、ち、懦、惰、り、て、用、小、堪、ざる、者、よ、五、つ、く、其、價、錦、得



る事ありて雑器を以てする者あり

一 蝦夷島は北海岸或をリイシリの住夷此島小渡りて山且夷とてども其孤獨ありて親族の拒たれども悉く誘引り来て山且夷小交易ひる者多し故にスメンクル山且夷の部落に入りて往々唇頭黥黥の女夷あること見ゆと云

一 島夷満州より支往昔ハ一歳中小數度ありて趣なれども近代 本邦の諸物大抵島中ニ編く者あり今ハ二三年小漸一度も渡海する趣なり其齋一行ところはホイヌの皮を上品として其他獺狐の類と持行満州の假府テレン即徳楞哩名小きて貢とて交易する人持歸るところの物を山且

夷の持来るところの物小異るなりとてども満州夷の渡りやとてなるまで直りて其得るところ多きを以て幾許の艱苦と凌ぎ其所に到ると云

一 島夷満州入貢の事ハ附録ニ詳載しるを以て爰ニ贅せん  
産業部下

一 島夷鍛冶するの事 蝦夷島近代を記するところなり 按一往時本邦の諸鍊物 蝦夷島あやねうらぎ取時ニ鍛冶して其用器と製せしむる一北地ソウヤ邊の老夷其業と熟知する者あり近代小至つて 本邦の諸物漸々島中ニ編く其業態他邦より傳へなるとして其業廢せしものなるら 其業態他邦より傳へ来るも此小あやね蓋島夷の考得て自ら製するやとてなるなり



一 鞆二種あり其形状圖の如く一上圖の鞆は魚皮を以て風囊と製し囊頭木耳と附て持とるなり一風口の筒は木と彫り合せ製し下圖の鞆は水豹の皮を以て風囊と製し鉄床を石面の平ちりと用ひ鉄槌は本邦の易わらひとるものこれを用ひ其他各の類何よるべし打錘の用とるはこれに悉く持参て槌の代りとるなり

一 その鍛冶とかり處は大抵家側より片庇と設け其内より業とるなり

一 業態は圖の如く鞆二本と地上小置き筒口と相をて土塊を以て其上とかりひ塊面一口とむき一夷として両手より

頭の風囊と持し上下より動揺せしむる時ハ塊口より風を鼓し大盛たるなり 本邦の鞆は異なるなり一夷其側小居より鉄と鍛錬し其器と製し

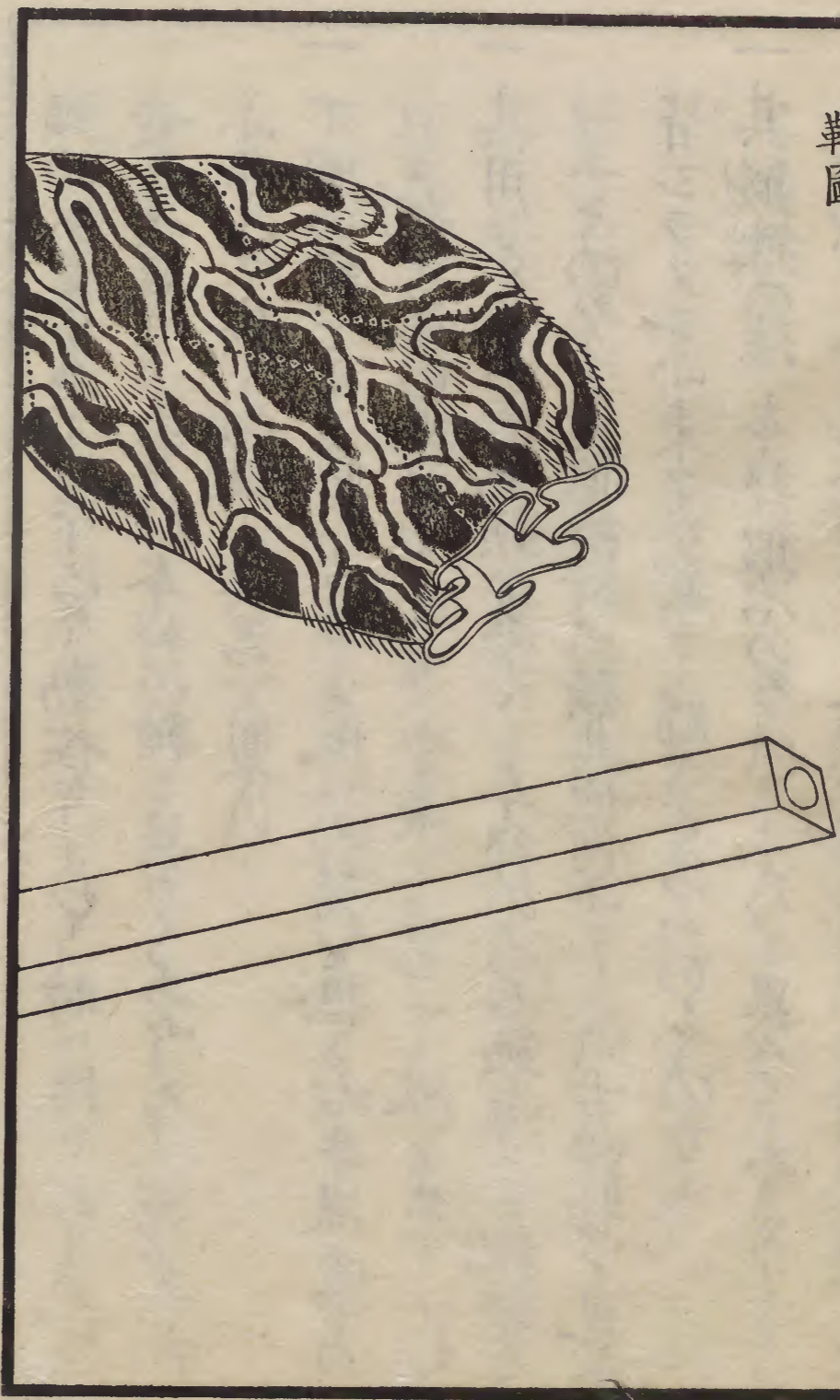
一 下圖の鞆と用る時ハ左手より風口の筒と握る右手風囊乃口と把て風の漏れざるやう小囊と係りて風と出さむ

一 其用とる所の地鉄は悉く 本邦の如く鉄より鋼鉄といふものなり大抵船釘の類其他何よるべし古鉄物と用ふ皆シラヌシ小来り交易し歸るとあるものなり

一 其鍛錬の法 本邦鍛冶の如くとるは異なるなり一乃鉄細より打延びて又鉄と継ぎしむる時ハ其鉄より



鞞圖





鍛冶圖



北段馬圖

卷之三

三



北段馬圖

卷之三

三



泥の類とちて火中に入火鍬となして凡刀斧の類製一  
終て後焼刃と入るあり 本邦のあつく水中に入れて是  
なるは然れども鍛錬の具備らざれば精巧の器と製し出以  
ちやあつらひ製らるるを悉く廢して可悦物は  
一諸鍔物 本邦の渡らるるよりて大抵其用とるは只る  
とつども其地習ひて物を削ること向へ押ひ事稀よりて  
前へむいく是を削る故に左刃の小刀と製し用るはや國の  
あや

冠婚葬祭

一冠ハ蝦夷島のおど一本を以て是と製し然も其禮たり 只熊祭

等の時象夷皆是にかつむる

一婚ハ蝦夷島は異なるありと聞ひ然れども其式必小異ある  
なり 林蔵親視せざれば其詳とらむべ

一蝦夷島は夫逸く婦勤むるの俗ありて其身の衣服も云ふ  
小及むべ其夫其子の服皆一婦に織出ひアツシ布なり此島  
是より又アツシデタレベノ類ありとつども草木無数小志  
て多造らるるあり能くぞれども男女の衣服大抵交易ものを  
用ふ故に男夷勤て山獵なり 我邦山且は交易して其婦は  
衣せざれども得べ況其倍女と貴び衣服も色々の飾若と  
化るとるは夫勤め婦逸るる倍習ひて蝦夷島は及びる



やうなるもの

一 葬禮ハ蝦夷島と大小異なり凡首長たるものは死する時先腹をこめて腸と去り家外小園のなかにかくる床を設け其上小あげ置日女夷として水とろぎ是を洗し日乾して腐敗のときかきしむ是を名付てウワイと云如斯き事凡一年一年を経るよちうざれハ其棺成就しざれば許の日月と経てその四肢身體少くも臭腐のおこたき時ハ大女夷を賞ちて衣服酒烟草の類と與ふ若少くも腐敗はるち有る當ては忽女夷を殺ちて先葬り其後死人を埋葬はと云女夷を殺しり事近代に至て廢はるゝ似たり

一 棺ハ長大なりて其文彩と彫刻はる事實小精工と極るものとれら衆夷カと盡はるとも凡一年許を経るよちざれば其巧と終るち能くは此棺成ると待て死人と納め送葬はとひとも地中小埋没らる小あひひ只地上小暴露は女夷を地中へ埋葬して牌を立てて園のこゝ

一 凡死者ある時ハ父子兄弟親族の者といつて及るは他人や之とも相集りて涕泣号哭はるち蝦夷島亦然るといふも此島尤厚といひ総て夷情と熟察らるふ七情中哀情殊深き不似たもの死者の事ハ年と経る後といふも談話はるあやを忌む若言止ると得ひて其者の死状と説く小玉はる



牌圖



逢久別人圖





他人やいしよと垂涙をて是と語る或離別く後其人の事状  
言ふことと忘る言其事よ及ぶ時ハ相思の情は堪ざる成以て  
知一故は葬祭の事は詳聞らるる事と得ざりしと云

一貧賤夷のぶきハ葬事終て蝦夷島の如し

一蝦夷島死者ある時ハ家と焼くもあつ此島是とたきみ只横  
死の者ある時ハ其家と焼と云

一祭事ハ蝦夷島は異なる事なり

一穉禮の類其他の小禮大抵蝦夷島のちひところのちひと只久  
別の入小逢時ハ圖の如く相對して奉とらあ合はると凡之  
次ありて涙と垂れ其後奉とらあ共よ退き互の安否と

何れと問と語るとい

一此島ハハ蝦夷島のちとく熊祭となり其行事大抵異状ある  
ちとく唯熊と養束と凡二三年ふぶ漸長大ありて其  
事と行ふ故小其熊牢と破と人と咬とあらむとを恐れ  
時くその歯牙と断ち去其状圖のちとく先牢中の熊と縛はる  
小繩と以て涼と造り牢中よ入し繩の両端ハ牢の左右外  
出しく二夷是と把り一夷の側より竿と牢中よ入れて涼とけ  
熊の頸小纏とを待て左右ハ兩夷繩と曳時ハ頸束とて熊抜  
躍らるるちとあつ其時牢蓋と敷いて牢中よ入り其四足  
と縛らるるちと圖のちとありて牢外よ出衆夷捕擁とて



去熊齒牙圖





其歯牙と断去る断器と鋸のごとき物小力のぬふ割痕と  
一たる器ありて夷の自製ゆるやとるあり祭時の殺法蝦夷  
島木と以て壓殺一此島ハ射殺と法とあり

一 凡熊祭の事ハ奥地ヲロツゴ○スメンクル○サンタン○  
コルテツケの諸夷と云とも行やるところなりと云

ヲロツコ夷の部

一 東海岸シー○タライカイヲ奥地ハヲロツコと称ゆる異俗  
の夷あり其人物大小蝦夷島より異なりて其言語も又い  
ゆるハ理髪総て剃切の志ありちく男夷ハ一組ありちく背  
垂化或ハ鬘のごとく束て垂る其情態俗習唯ハ一時の

應接ありハ詳あるありたりと云とも其顔色容貌下品と云  
て暴戾無慙と表せり

一 女夷ハ髪と乱垂せび大抵両耳の後ハ束糸或ハ鬘のごとく  
ち組て背ハ垂又ち男夷のちく頭上ハ束糸たる者あり  
其状一ちび其容貌顔色蝦夷島よりは美艶ありて且  
人小媚りの妖態多く浴湯施粉のちやるなりやいとも目く  
其面と水濯一其頭と梳粧飾とあり者多し

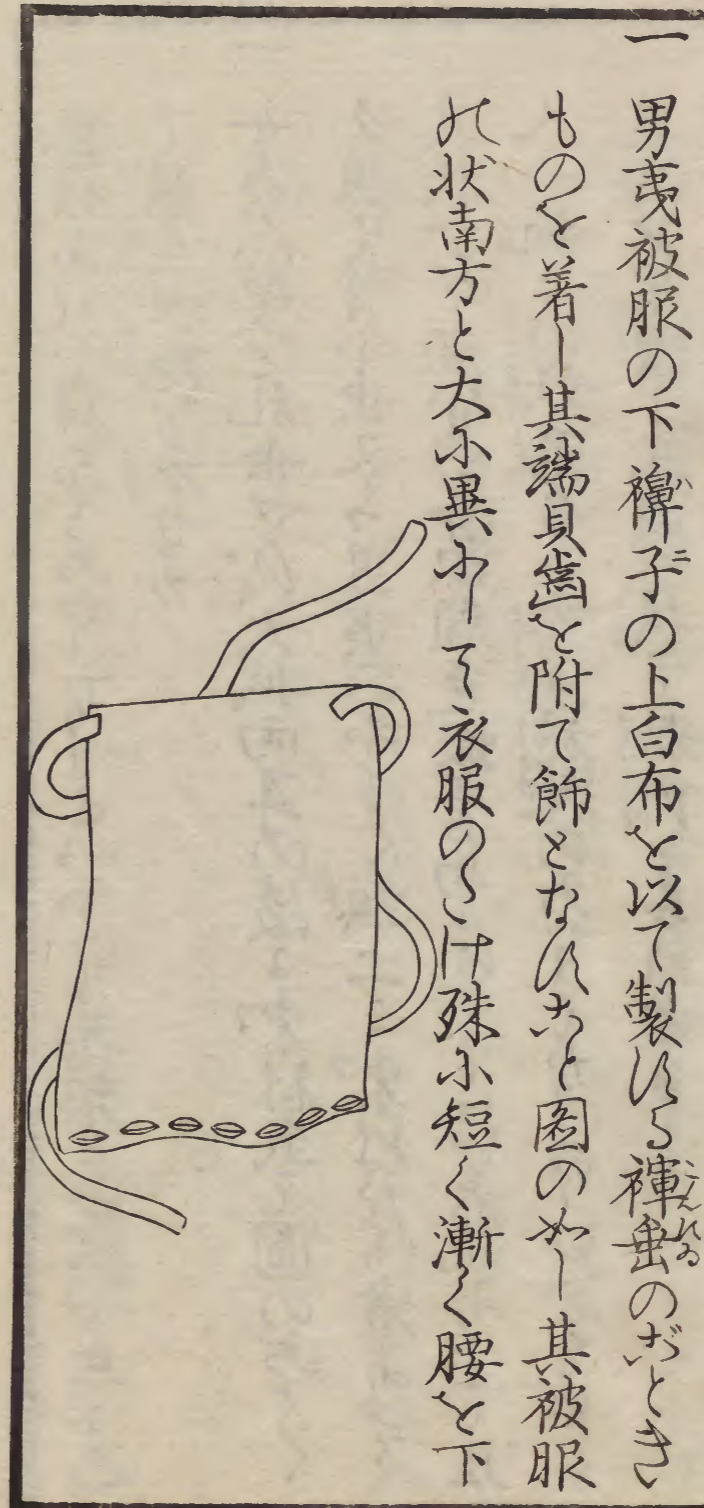
一 耳飾の環ハ南方と異ありて男夷ハ小環とけし女夷ハ大環  
ありて鬘のごとく数環の玉を飾り

一 衣服は大抵水豹皮魚皮其他何ふちび獣皮と以て是と製



以木綿衣のちとを皆山且夷と交易するところのものなる  
一此夷も又獸魚皮と以て製する肺衣履靴の類と著るるを  
南方れ如し

一男夷被服の下禪子の上白布と以て製する禪垂のぶとさ  
ものと著し其端貝齒と附て飾とならんと圖のや其被服  
れ状南方と大小異なり衣服のしけ殊小短く漸く腰と下



るものなりて禪子肺絆と著たるを實に致し競くとして  
其業とならぬものと知る

一女夷ハ肌膚と出ひたを耻とせしが其衣長くして踵及  
び内猶禪子脚絆と著け裳末飾銅と著るを圖れど

一飲食の事ハ南方小異るをたて獸魚の内或草根木實と食ひ  
一其居家一處小永住するをたて水草魚獸の利と追ふて時々  
諸方より遷移する處國のぶとたる假屋と營て其内は群居  
して業とならぬ然れども其遷移する所大抵地界ありて安  
轉移するをたて若し冬月よきて漁獵その獲物を時  
は百里の外より遷移するをたてども其平生は漸四五



北邊夷圖說

卷之二



ヲロツコ夷圖 其一

北邊夷圖說

卷之二







其二

北段夷圖說

卷之三

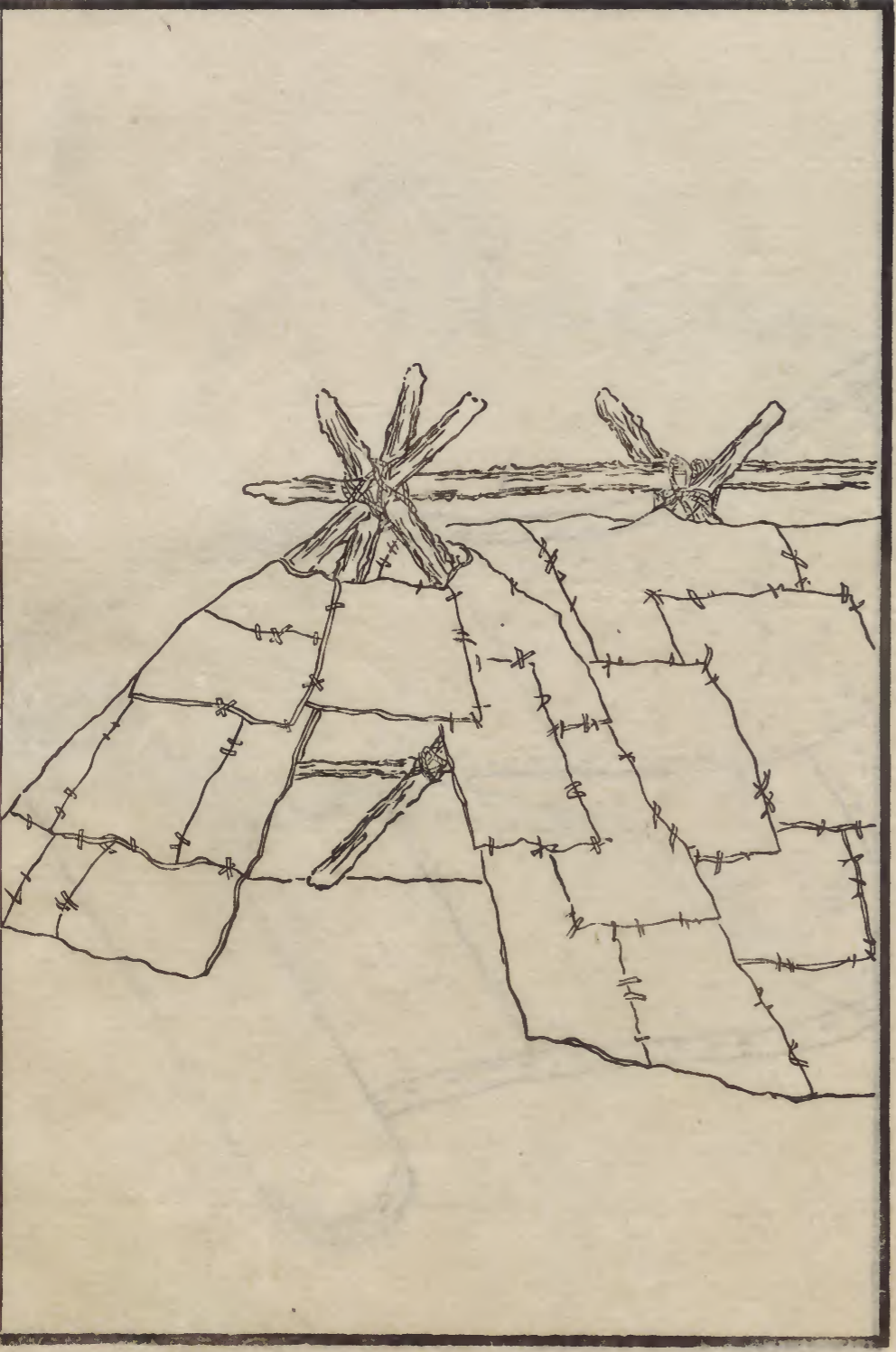




此假屋圖說

卷之三

三

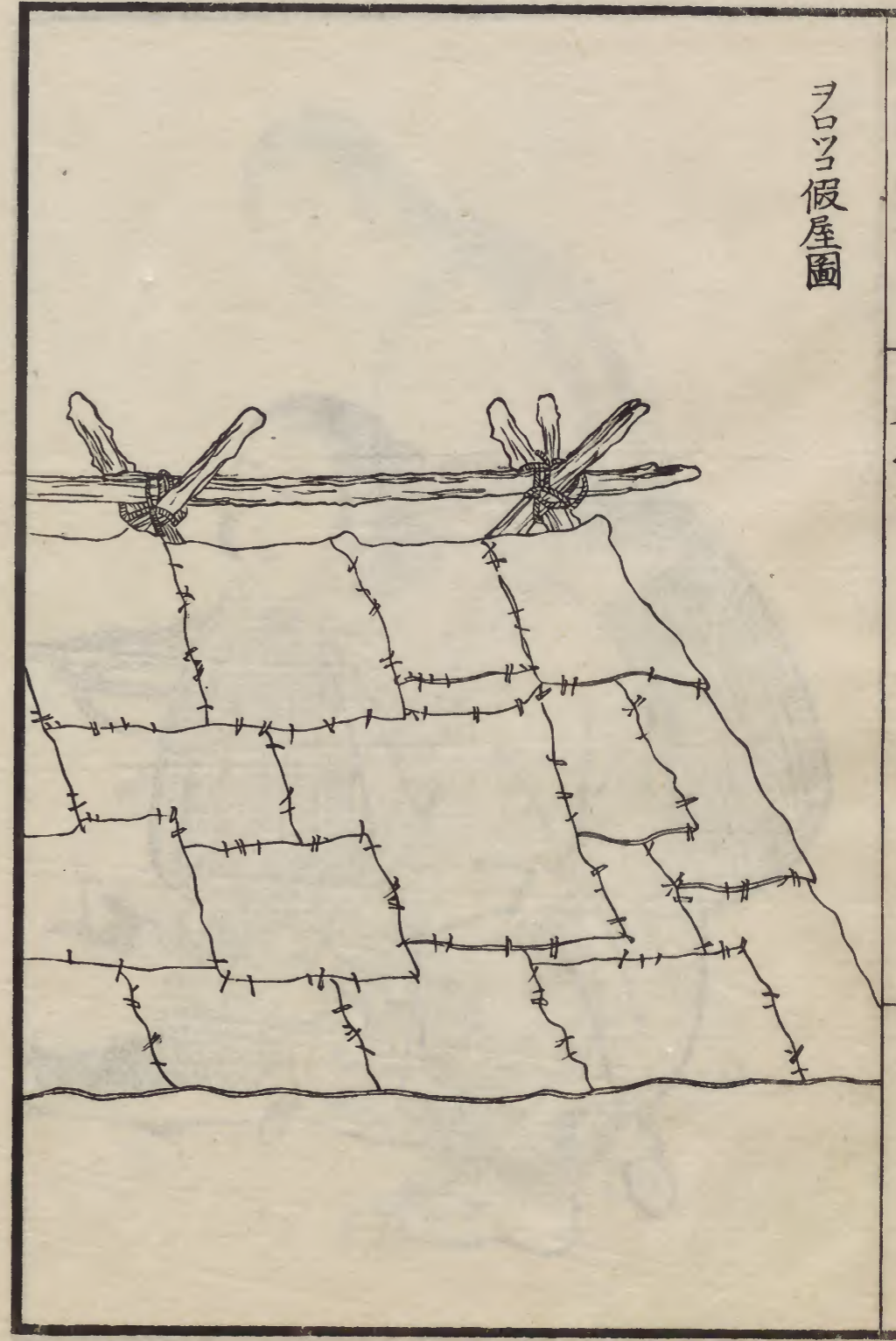


ヨロソ假屋圖

此假屋圖說

卷之三

三

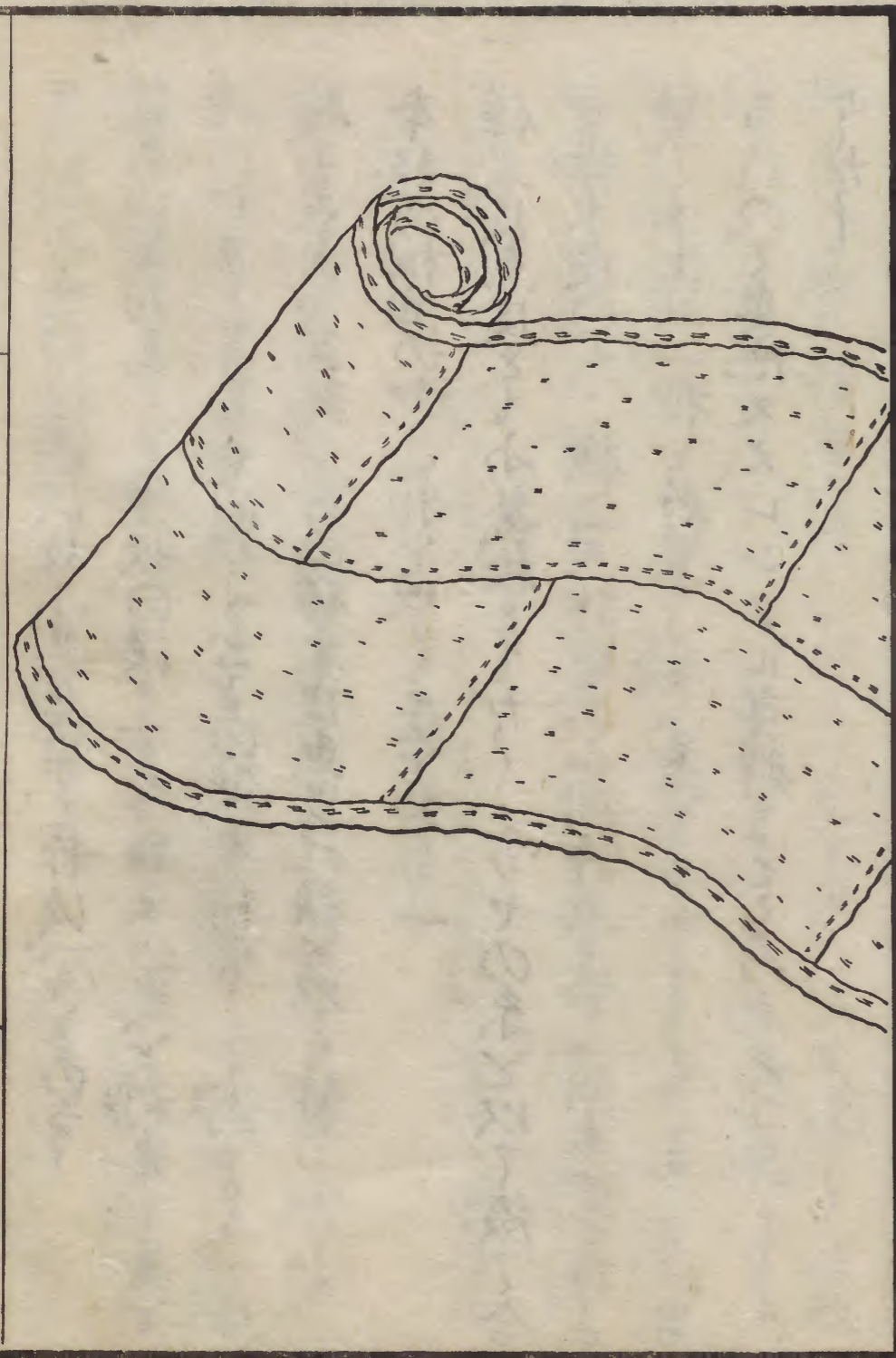




此段為圖說

卷之三

四



綴皮圖

此段為圖說

卷之三

四





里の間小遷移往還以故小其居家と称以一きある

一 假屋の製初夏より仲秋の頃まで雑木の皮を剥来て屋を  
掩ひ秋末より暮春の頃小至るの間木枯燥こせうして剥はつてるが  
時よ至てら其貯たくわる所の樺木皮魚皮いし類を以て製つくる  
本邦の桐油の如き物と以て屋をおわり

一 樺木皮魚皮とも小幾枚ともなくモウヤの糸と以て綴つり合  
せ樺木皮の大を横三尺許縦二三間許魚皮を一間半四方許よ  
製つくり平生此二種と貯置たくわて安やす小是と用もちることちく冬月の用  
ち人の奥地スメレンクル夷貯たくわるところは是は異ちからず  
なり

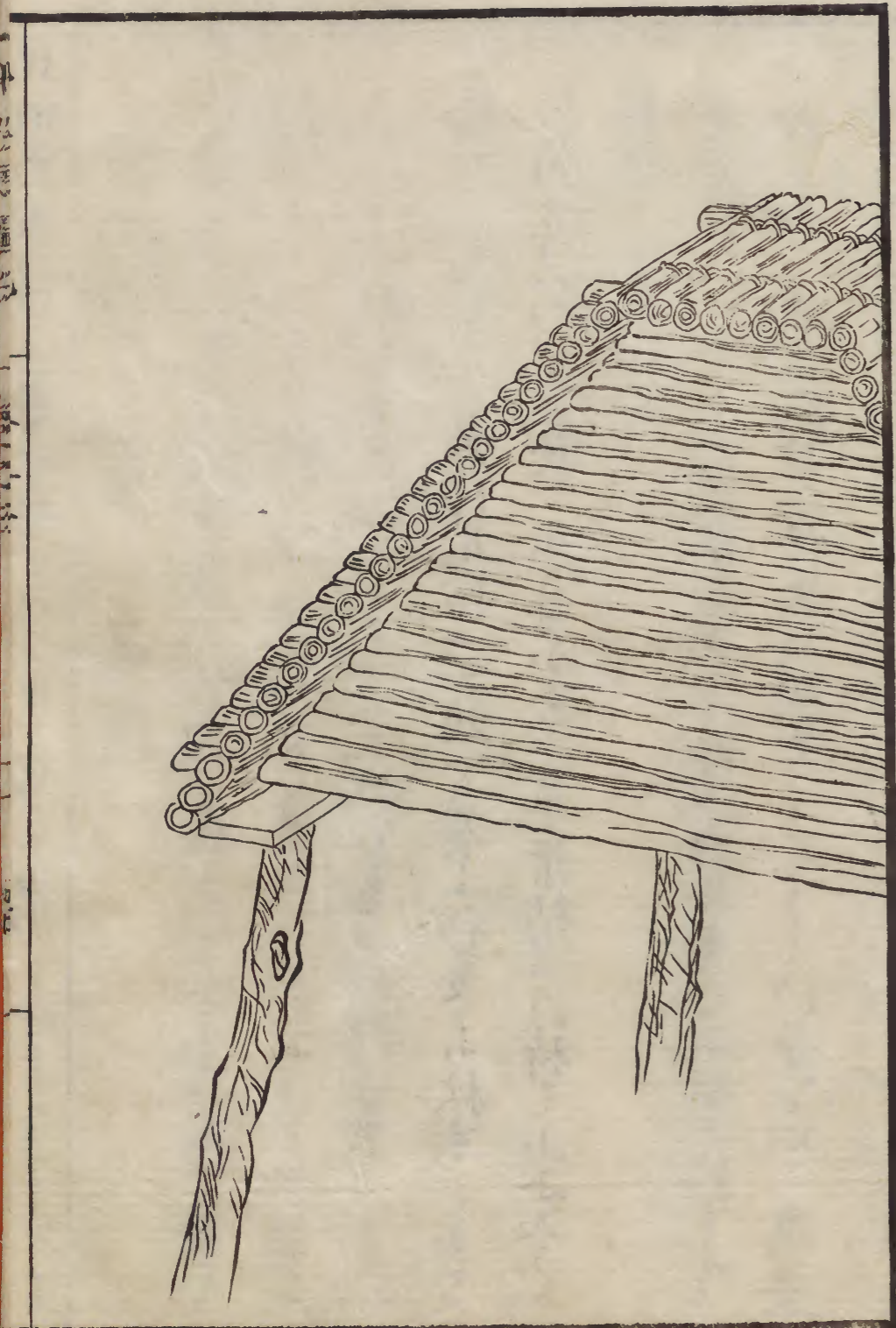
一 樺木皮嚴冬積雪の時小至る是と用もちひび其凍こり破敗  
ひることと思おもひ其時よ至まりて魚皮と出だして屋をおわり

一 廩くらと造る事圀がらのおり是其平生食たひるところは魚い鯨じゆの肉と  
蔵貯くらひ遷移うつしてある處木と切きく是と造つくり又他所たへ移うつる時  
は棄置すてて去いることなりがタライカイウウ奥地海濱山澤各所  
小建た在あり

一 此夷漁獵の事とつとむること實じつ其力ちからをもちりし故ゆに至いたる所  
多く魚い鯨じゆの肉と貯たくわふ然しかること其處獲物漸し少すくき小至いたること猶  
貯食たくわあらずしてして棄すて他所たへ移うつる故ゆに無人の倉中猶餘肉あ  
るもの少すくきこと若ごとく至いたる所獲物たくわちくこと飢餓う迫おる時とき故倉



北垣夷區言

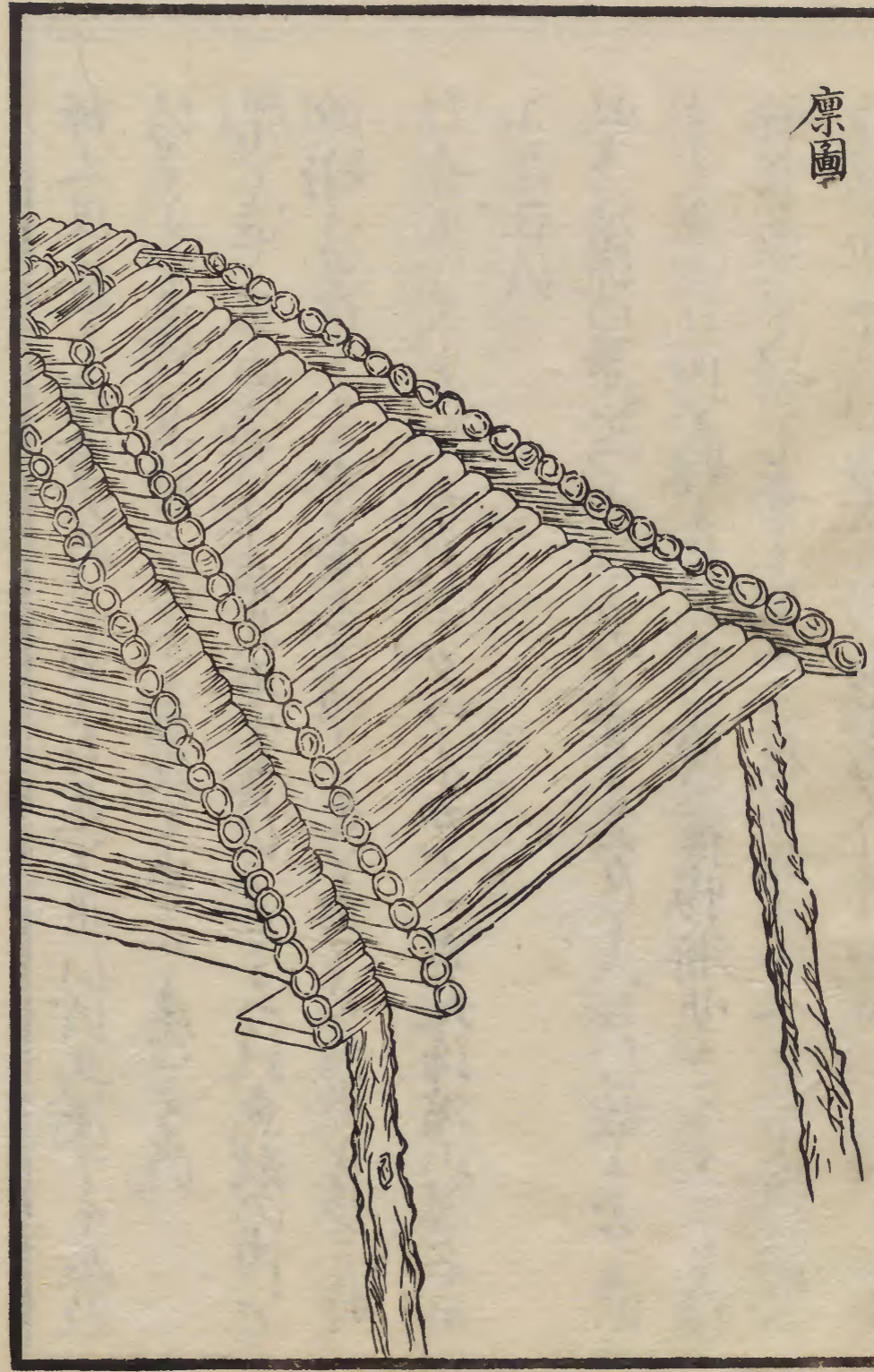


原圖

北垣夷區言

卷之三

七十五





小廻こまわ其餘肉そのあとのにくと索さく求もとめて食くとる

一 生産の事漁獵の態たて然しかて南方初島みなみはつしまは異ちがふなり只犬ただいぬと養やしなふ  
びびくくトナカイトナカイ獸けものとつつふ是初島こゝははつしまは異ちがふなりなり分ぶん富とみふ  
ふふつつて其數多少有あるのなりふふして大抵家毎おほまじりふ此獸このけものと養やしなふ  
者ものなり富貴とみかたなる者ものは凡拾二三頭おほむねに二三づつと養やしなふ初夏おほなつより秋末あきごまで  
の間まハ野間ののふ放養はなはなし冬月ふゆづきふ玉たま草葉枯盡くさばかひ時ときハ山やまふ入いり  
松まつ權ごんを食くせしむ

一 夷えい遷移せんじはるるふ諸雜器しよざし或ある漁獵りよくの皆具みなぐ悉しつく此獸このけものふ約やくして  
ゐる所あゐるところふ運送うんそうし故ゆゑふ終歲しゆざい此獸このけものななりるるは是こゝを以もつて患あは養やしな  
情なさけるるふふなり

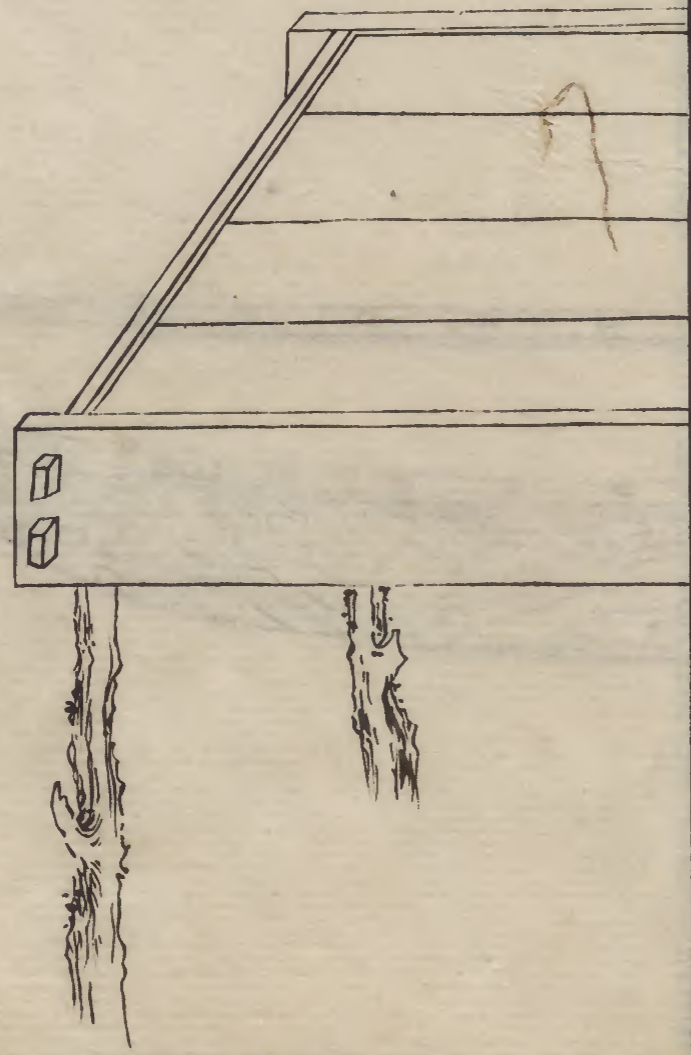
一 此獸性軟柔このけもの性はなやましして犬いぬを忌いやむ故ゆゑふ使犬しいぬの夷落えいらくは今居いまと同おなじ  
こゝろころと得えひ

乾隆御製集曰東海有使鹿部落しやうりやく使鹿負物しやうりやく如中國後馬然ちゆうごくご其  
鹿似常鹿しかじやうりやく而稍大名しやうりやく乾達漢けんたつかん

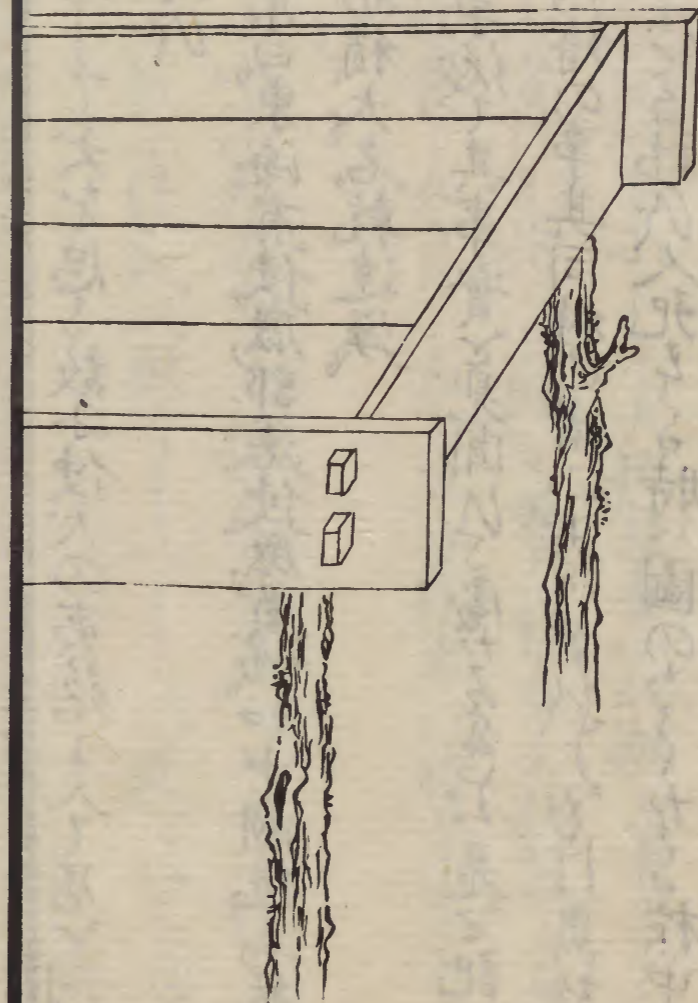
一 冠婚葬祭の事くわんこんさいさい總おぼて其事實そのじじつと見聞みきこひる處ところは々々さまざま是こゝと記し以もつて  
ふと得えひひ只結婚しよこんの事こと其同種そのどうしゆの者ものふああるるはけ異族いしやくの  
者ものと通とほじじるるはゆゆび人死ひとしする時ときハ圖ずのまじじなる棺中くわんちゆうふ  
納なめめて街まち上うへは暴露ばうろひ

一 夷等相戦えいどうて人を殺ころす或あるは怨怒おんぬひる所ところあありて竊せう小人せうじんを殺ころす  
其事そのこと發覺はつかくひるるはるることことは其親子兄弟そのおやこ讐あひ言こと報むかふ此事このことなり





クロッコ棺圖



北坂高圖元

卷之三

廿八



七段舟圖說

卷之三

七

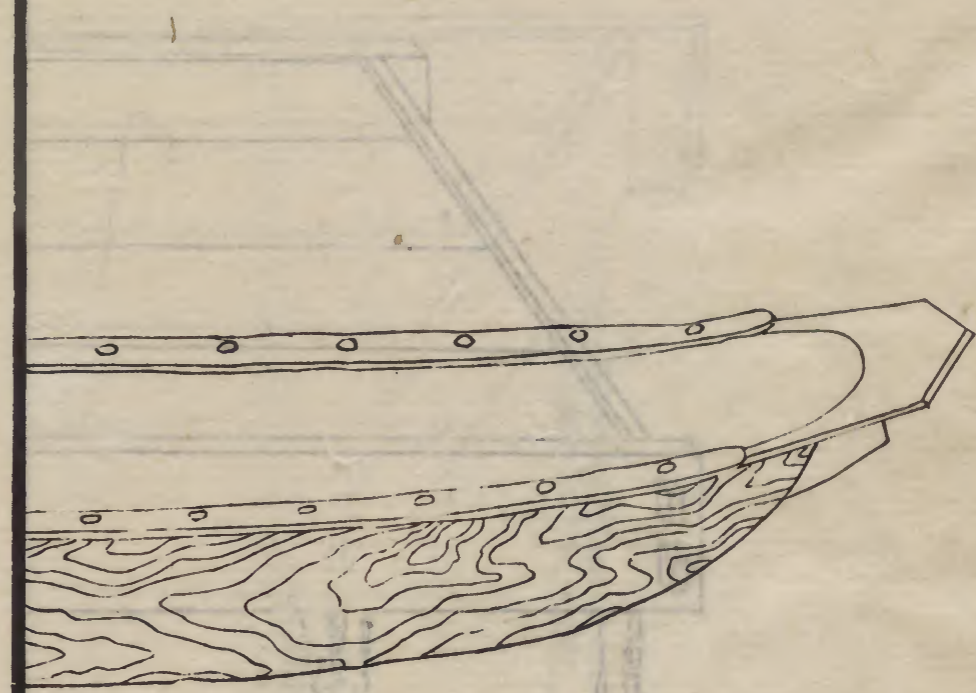


ヲロツコ川舟圖

七段舟圖說

卷之三

七





北蝦夷圖説 卷之三

其罪と責め其人をまて蔵ひる處の寶器と出し其罪と謝せ  
志む奥地スメレンクル夷亦如斯といふ

一 器械の類まゝ異なる物と見ひ只一品の川舟夷の自ら造るやこ

る此物あり其形圖のぶゞ殊に堅實なり其他海船の類皆南

方夷の製ひるところなり物ありて異形のものなり

一 弓矢の類總て南方小異なるものなり只服其製と異ふは圖ス

レシクル夷の部小出ひ

此夷種中一集毎に酋長なるものありて庶夷と指揮ひる

南方の如し酋長の方名林蔵是と失ひ

一 此夷は事實ハ林蔵唯見るところありて本より暫も同居

ヤ一ちやたる事と初島夷のどく親昵ひるところあり故  
小其情態の巨細を知るありしる



北蝦夷圖説卷之三終

北蝦夷圖説

卷之三

七



